

数馬酒造株式会社

石川県鳳珠郡能登町



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

能登の地域資源を活かした特徴ある酒造りを通じて、地域の魅力発信や活性化に大きく貢献

- 製造工程の改善や成分分析により、高品質・高付加価値商品の開発を図り、新規需要の獲得に繋げている
- 能登の素材にこだわり、耕作放棄地を活用した米作りにより地域活性化にも貢献している
- 「共創体験型販売」や「Nプロジェクト」といった独自の事業展開により販路を拡大

企業基本情報

所在地	石川県鳳珠郡能登町宇出津へ36
電話/FAX	0768-62-1200/0768-62-1201
URL	http://chikuha.co.jp/
代表者	代表取締役 数馬 嘉一郎
設立	1869年
資本金	4,800万円
従業員数	14人



会社概要

1869年から石川県能登町で酒造りを開始し、「竹葉」の銘柄で地元を中心に親しまれ続けてきた酒造メーカー。地元の原料にこだわって造られた酒は、国内外で高い評価を得ている。能登の耕作放棄地削減と、若者の力で日本酒・農業・能登を盛り上げる企画「Nプロジェクト」にも取り組むなど、地域に寄り添いながら持続可能な酒造りに挑戦し続けている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

最新設備の導入による高品質・高付加価値商品の開発

これまでは作業実施者の経験と勘に頼って行っていた醪の成分分析作業を、最新の分析機械の導入によりデータを分析・収集することで、分析結果の信頼性が向上。加えて、新型の醪圧搾機も導入し、圧搾空間を冷蔵庫化したことで、高品質の酒を安定して製造できるようになった。また、分析結果の蓄積により、科学的根拠に基づいた商品開発も可能となり、新規需要の獲得を目指して消費者の嗜好に合わせた付加価値の高い新商品の開発に取り組んでいる。



醪分析機

地域資源の積極的な活用による「能登の酒造り」と地域活性化

能登の米、水、能登流の技で醸す、地域資源をフル活用した「能登の酒造り」に強いこだわりを持っており、他社が兵庫県など他地域の米を主に使用中、同社では約9割が能登産となっている。

地元の耕作放棄地を活用して水田作りから米作りを行っており、これまでに東京ドーム約4個分が水田に生まれ変わった。また、地元の廃校となった保育所も改装し、醤油蔵にリニューアルするなど、地域の課題解決・活性化にも大きく貢献している。



酒の仕込み風景

「共創体験型販売」や「Nプロジェクト」などによる需要獲得

県外の酒販店・百貨店を招聘し、水田作りから共同で酒造りを体験してもらい、商品を深く理解してもらった上で販売してもらう「共創体験型販売」を実施し、販売強化を図っている。上述の「Nプロジェクト」により、日本酒に馴染みの薄い若い世代の取り込みと、企業価値、商品価値の向上を図っている。

他にも、若い女性をターゲットにした「聖地巡盃」（酒蔵と神社を巡るツアー）を地元自治体と連携して実施するなど、様々なプロモーション活動を通して確実に需要を取り込んでいる。



聖地巡盃